

平成30年度 学 校 経 営 計 画

港区立赤坂小学校長 曾 根 節 子

平成30年度がスタートしました。今年度は、開校25周年目を迎えます。学校・家庭・地域や赤坂アカデミーが一体となって、赤坂小学校らしい魅力ある学校づくりを目指して10月の開校記念式典・集会を盛り上げてさらなる飛躍の1年にしたいと思います。

そのために、港区教育ビジョンや港区学校教育推進計画、MINATOカリキュラム、小学校入学前教育カリキュラム、赤坂アカデミーにおける幼・小中一貫教育の推進計画や新学習指導要領に基づきながら、赤坂小学校の特色を生かして「学校がやるべきこと」「家庭でやるべきこと」「地域でやるべきこと」「アカデミーでやるべきこと」を明らかにして学校経営を推進していきます。

港区教育ビジョン（教育計画P5～P7）

◇基本理念 <すべての人の学びを支え つなぎ 生かす>

港区学校教育推進計画（H30.3 港区教育委員会）

◇目指すべき子供の姿<生涯を通じて夢と生きがいを持ち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造する子供>

○基本目標1 「徳」「知」「体」を育む学びの推進

- ・豊かな心の育成(道徳教育)
- ・確かな学力の育成（基礎学力・活用力の習得・理科教育の推進）
- ・健やかな体の育成（健康な体づくり、食育の推進、オリンピック・パラリンピック教育の推進）

○基本目標2 生き抜く力を育む学びの推進

- ・特別支援教育の推進（特別支援教育の充実）
- ・幼・小中一貫教育の推進（幼・小中一貫教育の推進）
- ・国際社会に対応する教育の推進（国際理解教育の充実）
- ・個性と能力を伸ばす教育の推進（ICTを活用した教育の推進）

○基本目標3 地域社会で支えあう学びの推進

- ・多様な主体との協働・連携による教育の推進（地域とともにある学校づくり、「チームとしての学校」の体制の整備）

○基本目標4 学びを支える教育環境の整備

- ・学校の教育力の向上（教員の負担軽減の推進）
- ・安全・安心で魅力ある教育環境の整備（学びの未来応援施策の推進）

○基本的目標5 つながり、伝え、巡回する学び

教育の港区の学校経営の視点

- 子供たちが安全で安心して過ごすことができる学校づくり
- 子供たちが生き生きと楽しく学ぶことができる学校づくり
- 保護者や地域に信頼される学校づくり

赤坂小学校の教育理念

一人ひとりの児童が、自分のよさや可能性を認識するとともにあらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながら人間性豊かな児童の育成に努め、様々な社会的困難を乗り越えられるように、徳・知・体のバランスのとれた生きる力を育む。

<新学習指導要領総則のポイント>

- (1) 生きて働く「知識・技能」の習得
- (2) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」
- (3) 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」
- (4) 「学び」の本質として重要となる「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善
- (5) 「カリキュラム・マネジメント」を実施し、教育課程を軸とした学校教育の改善・充実
- (6) 「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら新しい時代に求められる資質・能力を子供たちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現
- (7) 移行措置並びに移行期間中における学習指導の充実

1 学校教育目標（目指す子供像）

- やさしさと思いやりのある子
 - ・互いの人格を尊重し、おもいやりのある子
 - ・あいさつ・返事がしっかりできる素直な子
 - ・もの（環境）を大切にし、学校や社会のマナーやルールを守る子
- よく学びよく遊ぶ子
 - ・学習意欲をもって楽しく学ぶ子
 - ・主体的に学び、友達の考えをよく聞きながら、協働して学び合う子
 - ・外で元気に遊び、運動に親しむ子
 - ・時間のけじめを考えて行動できる子
- 心と体をきたえる子
 - ・最後まで目標に向かってあきらめずに努力する子
 - ・いやなことやつらいことも乗り越えられるたくましい子（レジリエンス：心の回復力）
 - ・夢をもち、スポーツを楽しんだり好きなことに取り組んだりできる子
 - ・安全で健康な生活に心がけ実行する子
 - ・体力や運動能力向上に向けて目標をもってきたえる子

2 目指す学校像

- 子供たちの日々の生活に、教育目標が目に見える姿として現れている学校
- 心の通い合う温もりがあり、明るく安全で安心な教育環境を創り出す学校
- 教育への使命感と責任感のもとに協働と研鑽で充実した教育を推進する学校
- 教育機能をより発揮するために家庭・地域社会と連携して子供を育む学校

3 目指す教職員像（チーム赤坂）

- 教育目標の達成を目指し、子供の成長を支える教職員（学級・専科経営の充実）
- 子供に自信をもたせ、学ぶことを楽しむ子供を支援し、学び合い高め合う教職員（研究・研修の充実、OJT）
- 情操をはぐくむ環境や安全で快適な環境づくりを心がける教職員（環境整備、整理整頓、安全点検）
- 保護者や地域の思い・願いを受け止め、家庭・地域社会と連携し、信頼される教職員（PTA・地域行事参加で生まれる絆や信頼）
- 温かくよさを褒め、正すことはしっかり叱れる教職員（教育愛、教育的瞬間を大切にする）
- 挨拶やマナー・服装・学ぶ姿勢など子供の手本になれる教職員

4 中期的経営目標と方策

（1）「徳」「知」「体」を育む学びを推進し、学校教育目標が子供の姿として現れる学校にします

- ① 道徳教育を推進します。そのために、道徳の教科化に伴う授業や評価のあり方について学校全体で研修し、児童が社会において生きていく上で求められる道徳的価値や人間としてのあり方、生き方について自覚し、道徳的実践力を育成できるように教員の指導力を向上させて、家庭や地域にも啓発していきます。
- ② 基礎学力90%、活用力80%の習得を目指します。そのために、少人数指導による個に応じた指導を工夫して児童の基礎基本の習得に努めます。また、「主体的・対話的で深い学び」の授業改善を学校全体で研究して授業改善を図ります。
- ③ 国際科授業の見直しを図ります。そのために、新学習指導要領英語科の指導内容を考慮して国際科の指導計画を見直し、教員とNTのTT指導の充実を図って、中学校に向けて英語力向上を目指します。
- ④ ICT教育の全体指導計画を立てて、児童や教員のICT活用能力を付けます。また、ICT環境を生かして児童の主体的な学びを促し、地域の人材を活用してプログラミング教育等現代的課題にも取り組みます。
- ⑤ 健康教育を推進します。そのために、学校全体で指導計画に沿って健康・食育指導を工夫して心身の成長についての正しい知識を習得し、実践的な判断力や行動する力を育成します。また、体力・運動能力向上調査結果の児童の苦手とする瞬発力や投動作について東京都平均値以上を目指して指導の工夫をしていきます。

（2）安全で安心な学校・信頼ある学校を目指します

- ① 防災計画や生活指導計画に沿って、防災・安全教育を推進します。そのために、家庭・地域・関係諸機関との連携で学年に応じた指導を工夫し、危機対応能力を育成して、早期発見、未然防止に努めます。
- ② 赤坂アカデミー防災・安全指導計画を作成します。そのために、5年後の幼・小中一貫校に向けて赤坂アカデミー企画推進会議で主幹やコーディネーターが原案を作成して準備します。

（3）生き抜く力を育む学びを推進して、特色ある教育活動を推進します

- ① 5年後の幼・小中一貫教育に向けた教育課程を作成します。そのために、白金の丘学園やお台場学園を参考

に各園、学校の作成委員を決めて準備します。

②オリンピック・パラリンピック教育を推進します。そのために、関係機関と連携しながら指導計画に基づいて実践し、国際社会に貢献し、日本の未来に夢や希望をもって生きる力を育成します。

③特別支援教育を充実します。そのために、特別支援教室の巡回指導教員やコーディネーターの指導力向上や教職員、保護者・地域の方に向けた研修を実施して理解を図り、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援ができるようにします。

(4) 地域社会で支えあう学びを推進して、開かれた学校にします

①学校運営協議会設立の準備をします。そのために、幼・小中一貫校開設に向けて、保護者や地域と協議し合えるように、教育経営協議会で研究しながら学校評議員会を核にして組織構成を考案して、試行します。

②ホームページや学校だよりを改善します。そのために、児童や教員、PTAにも呼び掛けて保護者や地域の方の専門力を活かしながら推進します。

③人材バンクを整理します。そのために、家庭や地域の人材を活用してきた授業や学校行事、クラブ活動等を学校全体ですぐ見て分かるようにします。その際に、港区学校支援本部のファイルの内容も見ながら整理します。

5 短期的経営目標と方策

(1) 「徳」「知」「体」を育む学びを推進し、学校教育目標が子供の姿で現れる学校

『やさしさと思いやりのある』子供を育てる教育（徳）

- いじめやかからかいのないやさしく思いやりのある子にします
- いじめや不登校0を目指します
- 相手の話をよく聞き、対話ができる子にします
- いつでもどこでも挨拶や返事が明るくできる子にします
- 自分のよさを理解し、異文化や他者を受け入れる子にします

そのために、次の点を重視して指導する。

- ・道徳や総合的な学習・教科指導において、学び合い高め合う学習を通じて自分や他者のよさに気付くようにするとともにいじめや暴力的な言動を許さない・見逃さない指導や基本的なルールを守るように日々の生活指導を工夫する。
- ・特別活動研修を実施して、児童が主体的によりよい学級・学校生活や人間関係づくりができるような指導力を付ける。（毎月ミニ自主研修）
- ・赤坂小いじめ防止基本方針に沿って組織的に対応し、未然防止・早期発見・早期対応に努めるとともに SC や関連教育機関との連携を図る。（いじめ対策委員会年2回、いじめ防止月間6月・11月・2月）
- ・働くことや人のために役立つことの大切さや喜びに気づかせ、責任感や行動力を育てる。（清掃や当番活動、ユニセフやボランティア活動、委員会活動、リーダーの経験）
- ・いろいろなことに進んでかかわり、よりよいものを求めて力を合わせたり、責任を果たし助け合ったりする体験を通して、成し遂げた喜びを味わわせる。（係活動・委員会活動・クラブ活動の自主的自発的な活動、ファミリー活動、あいさつ運動、CCCC（チャンス・チャレンジ・コンティニュー・チェンジ）
- ・地域のとのかかわりを通して、地域の中で学んだり地域行事に教員も子供と共に参加したりしながら、地域を愛する心をはぐくむ。（道徳授業の充実、開校25周年行事への関心と愛校心、地域愛）
- ・幼稚園、保育園、中学校（赤坂アカデミー）、サンサン赤坂との連携を図り、異年齢の子供を思いやる心を育て、コミュニケーション能力を高める。
- ・オリンピック、パラリンピック教育指導計画に基づき、オリンピック等さまざまな人とのふれあいを通じて国際社会の中で生きていく資質・能力を育てる。

『よく学びよく遊ぶ子供』を育てる教育（知）

- 主体的に学び、共に学び合いながら論理的思考力を伸ばし、生き生きと学ぶ子を目指します
- 新聞や本に親しむ子にします
- 基礎的・基本的な知識や技能をしっかりと身に付け、それを活用して思考力、判断力、表現力を伸ばします
- 情報活用能力や情報モラルを身に付け、情報を正しく選択し、判断し、学びに生かせる子にします
- 友達となかよく元気に遊ぶ子にします

そのために、次の点を重視して指導する。

- ・授業は時間内で終わらせ、休み時間や放課後などは友達や先生と外で元気に仲良く遊べるようにする。
- ・学級活動を充実させ、話し合い活動を通じて、自主的自発的に活動しながらよりよい学級・学校を目指すように

する。

- ・子供たちの学ぶ意欲を高め、自ら学び自ら考える力を育てることを指導のいろいろな場面でを行い、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る指導の工夫し、学年の発達に応じた学力のB基準の到達を図る。到達できない児童に補充学習を行う。また、発展的な学習も工夫し、個に応じた学びを保障する。
- ・学力向上調査を分析して作成した授業改善推進プランを参考に、授業改善を図り、活用力の向上を図る。
- ・校内研究・研修を充実させる。研究主題「一人一人の主体的な学びが生まれる授業の追究～論理的思考を楽しみ、生き生きと学び合う子～」に迫るように日々の授業や校内研究会を充実させる。（国語科・社会科）
- ・各教科との関連を図りながら図書館（学校・港区）を活用し、読書の楽しさや調べ学習の方法など生涯に向けて本や新聞に親しめるように読書活動の充実を図る。
- ・体験的学習や問題解決的な学習を取り入れ、さまざまな体験にかかわることによって「楽しい」「なぜなんだろう」「こう考えたらいいかな」「わかった、できた」という子供主体の学習を展開し、「もっと〇〇したい」という学びの追究が生まれる授業を追究していく。
- ・算数習熟度別推進委員会を設立し、「東京方式 習熟度別指導ガイドライン」（東京都教育委員会）や「東京方式1単位時間の授業スタイル～思考力・判断力・表現力等を一層育み、主体的に学習に取り組む態度を育てるために～」を活用して知識・理解・技能の習得（ベーシックドリルの活用・家庭学習時間）はもちろん活用を図る指導も工夫していく。
- ・理科指導については、SA と連携をしながら実験・観察・操作等体験的な学びを展開し、記録・討論・比較など言語活動も取り入れながら課題解決を図る授業を工夫する。理科室をを授業で活用する。
- ・恵まれたICT環境を生かして授業を工夫し、情報活用力・リテラシー・モラルの指導や子供にとって魅力的な分かり易く楽しい授業にする。活用状況を週案簿に記録する・
- ・教員同士が日常的に学び合うように統括主任教諭（本校独自）を中心に主幹や主任教諭がOJTを進め、自主的に研修を行うようにする。

『心と体をきたえる子供』を育てる教育（体）

- 健康で安全な生活について考え行動する子にします
- 生命をいつくしみ、自然を大切に作る心や美しいものを美しいと感じる感性が育つ子にします
- 相手を思いやる言葉遣いや振る舞い、おもてなしができる子にします
- 夢や希望をもち、日常的な運動や遊びに親しみ、好きなことを見つけて体や心をきたえる子にします
- 困難なことにもあきらめずに最後までできる子にします
- 平成32年度東京オリンピック・パラリンピックに向けて関心をもって学習し、日本人として誇りをもって地域の一員として国際感覚を豊かにもち、自分にできることを進んで実践できるようにする。

そのために、次の点を重視して指導する。

- ・「心を育てる教育」を推進するため、道徳の時間の充実を図るとともに、体験活動を取り入れた授業や地域の人々との協力、連携を図った授業などを工夫する。
- ・自然体験やボランティア活動、高齢者や障がいのある人、プロの技をもつ人とのふれあいや交流を授業や学校行事に取り入れる。
- ・保護者や地域の力を活用して音楽活動や造形活動、読書活動等、豊かな心を育む活動の充実を図る。
- ・年間を通じて体力が付くような体育の時間や休み時間の指導を工夫し、日常的な運動を子供たちが目標をもって取組めるように体育朝会で重点取り組みを紹介し学校全体で運動能力を高めるようにする。（体づくり運動、なわとび、マラソン、タグラグビー、ストレッチ、ダンス、日常遊びの紹介など）
- ・運動・体力向上調査結果から課題に瞬発力や投力について指導を工夫し、東京都の平均以上に向上する。
- ・東京都オリンピック・パラリンピック教育を指導計画に基づいて学習ノートを活用しながら展開する。また、平成30年度 夢・未来プロジェクト企画書に基づいて、関係機関と協力しながらプロの選手の模範演技や講話、直接指導等で児童や教職員・保護者・地域がスポーツに興味関心をもったり夢や希望をいだいたりして自らスポーツに親しみ、おもてなしの心を育み、2年後の大会に関心をもつようにする。3学期に全校活動報告会をする。

(2) 安全で安心な信頼される学校づくり

- 児童や保護者・地域・教職員にとって安全で安心な学校にします
- 学校・家庭・地域それぞれの主体性や特色を考えながら互いに協調しながら連携し、教育活動を推進します
- 学校教育を計画的に進め、事故を未然に防ぐように努力し、万が一事故が起こっても真摯に保護者に説明責任を果たせるように安全安心な教育環境・指導に努めます

○防災意識をもってどんな災害や事件にもあわてずに命を守る行動がとれる児童・教職員にします
そのために、次の点に重視して指導する。

- ・安全点検（毎月）、児童理解（夕会や職員会議）、生活指導（職員会議）防災など常に危機意識をもち、事故やいじめ等を未然に防ぐ。早期発見・早期対応に努める。（防災対策マニュアル、学校いじめ・自殺・虐待予防対策、食物アレルギー対応、特別支援、学校保健等各種委員会）
- ・勤務情報を毎月、職員会議に行い、4月、7月、12月、2月に勤務研修を行いながら教職員同士で声を掛け合って勤務事故0を目指す。困ったときの報告・連絡・相談を忘れないようにする。
- ・防災教育指導計画に基づいて避難訓練にとどまらず、いざというときに対応できる指導を学年の発達に応じて分かり易く指導する。
- ・教職員のライフワークバランスが図れるように職場環境の改善に努め、教職員同士も声をかけながら健康で明るい職場にしていく。

(3) 開かれた学校づくり

○学校・家庭・地域それぞれの主体性や特色を考えながら互いに協調しながら連携し、教育活動を推進します

○保護者や地域の人材を積極的に活用しながら魅力的な教育活動を推進します

○赤坂アカデミー教育方針に基づき、魅力ある教育活動を展開し、公立学校・園の交流・連携を児童・保護者・地域に伝えます

○児童や教職員がPTAや地域行事に関心がもてるように広報し、参加意欲を高めていきます

そのために、次の点を重視して指導する。

- ・教育活動を常に公開し、「見える、納得できる、説明できる」教育を推進する。（学校評価前期・後期）
- ・保護者や地域の願いや期待、意見や要望を受けとめ、それらを反映した経営に努める。（報連相の徹底、SCとの連携、行政や関連機関との連携）
- ・情報を適切に発信し、保護者、地域との信頼関係に基づく連携と協力により、「子供を共に育てる」姿勢を明確にする。（学校・学年・学級だより・ホームページの充実、保護者全体会を学期ごと、参加したくなる保護者会の工夫）
- ・中之町幼稚園・赤坂保育園・南青山保育園・赤坂中学校と授業や行事等で連携・交流をしながら隣接型の特徴を生かした12年間の赤坂アカデミー一貫教育を推進する。
- ・PTA実行委員会や青少年対策地区委員会、学校評議員、民生児童委員、保護司、赤坂小さいじめ防止対策委員会等と協働しながら教育活動を常に振り返り改善に努める。

(4) 特色ある教育活動の一層の充実

○開校25周年記念式典をPTAや地域の協賛で開催し、児童会が中心となって愛校心や地域愛あふれる集会を10月13日に開催する。

○赤坂小学校の地域材、地域人材、学校教育環境（施設・人材）を有効に生かした伝統ある教育活動の伝承と改善を図ります

○魅力ある赤坂小学校らしい教育活動が展開できるようにします

○2年後のオリンピックに向けて児童・教職員・保護者・地域が夢や希望をもって関心・意欲が向上し、自分のできる学びやおもてなしができるようにします

そのために以下の指導を充実させます

- ・開校25周年記念行事委員会（地域・PTA・学校代表が5月、9月、10月に会議、式典・集会は9月に詳細提案）
- ・東京都夢未来プロジェクト実践校やパラリンピック応援校としての取り組み内容「オリ・パラ通信」発行
- ・特別支援教室拠点校としての役割を明確にして特別支援コーディネーター、特別支援専門員、巡回指導教員が学級担任と連携を図った指導の充実
- ・挨拶や礼儀が港区一番にできる学校にする指導
- ・温水プールの利点を生かした水泳指導（6年生までに全員50メートルクロール・平泳ぎ完泳）
- ・港区学校版環境マネジメントシステムによる環境教育の一層の推進（エコ委員会・栽培委員会・授業の工夫）
- ・勝海舟ゆかりの「威臨太鼓」の継承
- ・異学年交流活動の工夫（ファミリー活動・幼保小や小中の交流活動、赤坂アカデミー交流連携活動）
- ・国際理解教育の推進、英語検定（6年）NTと教員との連携による授業の工夫
- ・漢字検定への全員参加、合格率向上のための指導
- ・たてわり給食（多目的ルームで2学年ずつ計画的に交流給食。幼保との交流給食）

- ・放課後部活動（サッカー、陸上、水泳、ダンス、英語理数教室等）
- ・オープンスペースを有効活用した協働学習
- ・フレンドシップ対象国の学習の充実、全校学習報告集会の実施

6 学校の教職員の姿（チーム赤坂）

学校も教職員も、子供のためにあることを常に忘れずにいたい。教師は直接子供の指導にあたるほかにも実にいろいろな仕事がある。しかし、それらはすべて「子供のよさを生かし、可能性を伸ばす」という教師の使命を達成するために行うものである。また、学校はPTAや地域とともに子供を生かし伸ばす場であることを認識し、職務に励みたい。公務員としての自覚をもった行動・言葉づかい・礼儀・身だしなみを心がけたい。

『子供のよさを生かし、可能性を伸ばす』ことを実践する教職員

- ・子供を何よりも大切にする学級や学年経営と職務の遂行を心がける教職員
- ・子供に自信をもたせ、安心して自分を出せる指導の工夫、改善に心がける教職員
- ・情操をはぐくむ環境や安全で快適な環境づくりを心がける教職員
- ・保護者や地域の思いや願いを受けとめ、それを学級経営や学習指導、生活指導などに生かすことを心がける教職員
- ・一人一人のよさをほめ、正すときも怒らず叱ることのできる教職員

組織人として行動する教職員

- ・常に課題意識をもち、経営方針の実現に向けた努力を惜しまず、広い視野から自分の考えをもつことができる教職員
- ・問題を抱え込まない、一緒に考える、ともに歩む姿勢を身につけた教職員
- ・協力、協調、連携で互いに力量を高め合い、組織に貢献できる教職員
- ・研究、研修により自己のキャリアアップを図り、成果を全体に反映させる教職員
- ・若手教員を育成できる主幹教諭、主任教諭
- ・PTAや地域とともに進んで子供の参加するPTAや地域行事を見守ろうとする教職員

学校に勤務することに生きがいと誇りをもつ教職員

- ・学校に勤務することに使命感と生甲斐をもち、その仕事に情熱をもって全力を尽くす教職員
- ・実践しながら考え、失敗から学び、港区立赤坂小学校の教育を創造することに喜びをもつ教職員
- ・よりよい授業をすることを楽しむ教師、予算執行や施設管理等を安心して任せられる事務、一番綺麗で安全な学校にする学務主事、一番おいしく安全な給食を提供できる栄養士と調理従事者、一番安全な学校にするシルバー人材派遣学童擁護員や警備員

心も体もたくましい人間味あふれる教職員

- ・仕事の見通しをもち、休養と趣味の時間を持ち、ライフワークバランスを考えながら健康を心がける教職員
- ・体調や心の不調のときは、我慢しないで早めに管理職に相談する教職員
- ・自分の経験や人生観を豊かに児童に語る教職員

教育公務員・学校職員としての心がけ

- ※地方公務員としての自覚を忘れず、全体の奉仕者として仕事をする。
- ※都民の目、区民の目、地域の目を意識し、信頼されるよう行動する。
- ※絶えず研修、研鑽に努め、積極的に自らの資質を高める。
- ※服装や身だしなみや言動に気をくばり、明るく爽やかな印象を大切にする。
- ※気持ちの良い接遇に努める。礼儀、挨拶・丁寧な電話対応に心がける。
- ※服務事故は絶対に起こさない。不適切な言動はしない。
- ※子供の心を大切にし、常に寄り添い、愛し続ける。
- ※職務に対して自信と責任をもち、常に課題意識をもち、課題解決に努力する。
- ※チャレンジ精神を忘れない。
- ※心身ともに健康で、家族や個人の生活や時間も大切にする。